

「だから、ワシは野宿で頑張る」のネタが・・・

日雇いから生活保護へ 変わる街の姿 大阪・釜ヶ崎

「生活保護マナー」が、この街のかたちを変えつつあると・・・

2月10日、朝日新聞に『生活保護費の全国の支給総額が年3兆円を突破した。日雇い労働者の街、大阪・釜ヶ崎では3人に1人が受給者になった。「日銭1億」といわれた労働者の賃金が街を潤す光景は消え、代わってもたらされた「生活保護マナー」が、この街の私たちを変えつつある。』というリード文が付いた記事がありました。

と思われませんが、お金の代わりに自分の寿命をつぎ込んでギャンブルをしているようにも見えますが、どんなものでしょうか？

生保受給者は「準公務員」、生活保護費は「給料」とは昔からよく言われる例えです。最近の公務員は、給料は下がる、勤務時間中はタバコも吸えないと、色々大変なようですが、「準公務員」の方も年齢によっては、

ざつとでいえば、「生活保護費のほとんどをギャンブルに使い、借金まみれ、流行るのは闇金屋と安売リストーパーだけ、週1回借金を抱えた人のための相談会を開く、いちようの会、が大活躍」といった内容でした。

「ほらみる、ワシなんかは、生保受けたら、ギャンブルで破綻するのが目に見えてるから、生保には手をおださん。特掃とアルミ缶の金で楽しむのがちようどエエンヤ」

たしかに、それだと借金で苦しむことはないだろう

う話をよく聞きます。そんな事情が広く伝わっているので、「生活保護も、もうひとつアア」と、二の足を踏む人もいるようです。しかし、世の中というものは、悪い話は広がりやすいのが昔からの常。うまく対応している人、生保と仕事を両立させている人等の話は、なかなか伝わってきません。

ですから、実態はそれほどでもないと思いい定めて、生活保護申請を。やめよう食わず嫌い、行こう、市更相へ

やかんしゆくしよりよう しゅうへん のじゆく
夜間宿所利用・センター周辺で野宿

かま さきちいき はぎのちやや たいし さんのう
釜ヶ崎地域（萩之茶屋・太子・山王・
はなぞのきた ない のじゆく ひと かん
花園北）内で、野宿している人や簡
しゆく と ひと やかんしゆく
宿（ドヤ）に泊まっている人、夜間宿
しよ りよう ひと
所を利用している人

おおさか しりつこうせいそうだんしよ しこうそう
大阪市立更生相談所（市更相）

アパート・マンションをさがす期間と
てつづ お ま きかん ふつう
手続きが終わるのを待つ期間（普通
はしゅうかんていど いしよくじゅう かくほ
は2週間程度）の衣食住を確保する
ためいちじにゅうしよ
ために一時入所

せいかつほごしせつ じきょうかん
生活保護施設（自彊館など）

にゅうきよよてい
入居予定のアパート・マンシヨ
じゅうよう じこうせつめいしよ ていしゆつ しき
ンの重要事項説明書を提出、敷
きん とうめん せいかつひ う と
金と当面の生活費を受け取る

にゅうきよ
アパート・マンションに入居

にゅうきよ
入居したアパート・マンションの
ちんたいけいやくしよ ていしゆつ
賃貸契約書を提出

にしなりく ほけんふくし せいかつしえんたんとう きゅうふくし じむしよ にしなりくやくしよ かい
西成区保健福祉センター生活支援担当（旧福祉事務所・西成区役所3階）

げんざい
現在、西成区内のアパート・マンションで生活しており、賃貸契約書を提出できる人（ゼロ物件・簡宿転業アパート入居も含む）